

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

○令和5年度 第2回「健笑庵いくま」運営推進会議

対象事業者名：(有) ケアサポートことぶき「健笑庵いくま」

サービス種類：地域密着型通所介護事業所

開催日時：令和6年1月23日(火) 14時30分

開催場所：ミーティングルーム

出席者：9名

《内訳》

事業所(担当者)	3名	利用者	1名
利用者家族	1名	地域代表者	2名
包括支援センター	1名	知見を有する者	1名

【議事・議題】

1. ご利用状況(令和5年12月現在)

登録者数 (設置基準別) 14名	総合事業通所サービスA(緩和型)		4名 (男性:0名、女性:4名)		
	総合事業通所サービス (従前型)		3名 (男性:0名、女性:3名)		
	地域密着型通所介護		7名 (男性:1名、女性:6名)		
介護度別利用者数	事業該当:1名	要支援1:2名(内、緩和型1名)		要支援2:4名(内、緩和型3名)	
	要介護1:1名	要介護2:4名	要介護3:2名	要介護4:0名	要介護5:0名
利用回数状況	週1回:5名	週2回:5名	週3回:2名	週4回:1名	週5回:0名
各月総利用数 (R5.7~12)	7月:95名	8月:113名	9月:90名		
	10月:87名	11月:106名	12月:97名		

2. 活動報告(令和5年7月~12月)

1) レクリエーション活動

7月	・七夕飾り作成 ・七夕会 ・曜日対抗ゲーム[うちわゲーム]
8月	・曜日対抗ゲーム[金魚すくいゲーム] ・誕生会 ・蓮の花見学 ・かき氷作り
9月	・敬老会 ・誕生会 ・壁画作り ・曜日対抗ゲーム[ボール回しゲーム]
10月	・運動会 ・誕生会 ・コスモス見学
11月	・芋ほりゲーム ・誕生会 ・白鳥見学 ・曜日対抗ゲーム[積み上げゲーム]
12月	・クリスマス会 ・年末そば昼食 ・誕生会 ・曜日対抗ゲーム[リース回し]・絵馬作り

2) 日曜デイサービス(月1回、日曜日開催)

7月	外出活動(参加者8名 内容:田部美術館・茶道具展示品鑑賞)
8月	室内活動(参加者8名 内容:納涼会、ボーリング大会)
9月	外出活動(参加者6名 内容:島根町加賀・松江ビジターセンター見学、ビンゴ大会)
10月	外出活動(参加者4名 内容:紙すき体験(安部栄四郎栄記念館))
11月	外出活動(参加者6名 内容:山陰合銀展望台・紅葉鑑賞、昼食(桃仙閣) 外食)
12月	望年会(参加者7名 内容:ボランティアさんによる歌、出し物・ビンゴ大会)

3) 防災訓練及び活動

実施日	訓練及び活動の内容	参加者数(内職員)
7月	実地なし	
8月	地震について(8月に実地出来なかった為9/1に実地)	6(2)
9/11	火災について	5(2)
10/31	地震について	9(3)
11月	火災について(11月に実地出来なかった為12/15に実地)	5(2)
12/20	地震について	6(3)

4) その他の活動

・洗濯物たたみ、歌唱活動、脳トレドリル、塗り絵:(毎日)

3. 相談および苦情受付状況・事故報告（令和5年7月～12月）

1) 相談及び苦情事例

＊この期間での受付はありません。

2) 事故事例 ※新型コロナウイルス感染関連も含む

〈施設内事故〉○屋内移動時の転倒

〔状況〕

令和5年9月12日（火）16時10分、場所：施設内トイレ前（洗面所兼脱衣室）

利用者Ｔ氏（施設内歩行器を利用）

トイレ後、ドアを開け、出た直後に用意してあった歩行器を掴みそこねて膝折れ転倒。

〔対応〕

直後に全身の確認を行う。外傷や痛みの訴えも無く歩行された為様子観察を行う。担当ケアマネ及び家族様にも連絡し状況説明と心身の状態を報告する。家族様には帰宅後も様子観察を依頼する。

翌日、家族様に連絡し様子を確認、腫れや痛みの訴えも無く、問題なく歩行しているとの回答あり。

〔再発防止に向けた対応〕

当日、ミーティングにおいて、今回の事故を検証する。具体的な対応方法について、その日の体調も鑑み、より確実な対応を心がける。Ｔ氏の場合は、最近の歩行状況から施設内移動時の見守りの継続とトイレ利用の際、職員は近くで待機し、すぐにフォローできるように対応することを確認共有する。

3) ヒヤリハット対象事例

＊この期間での該当はありません。

4. 研修会および勉強会

1) 外部研修

- ・令和5年度福祉サービス苦情解決研修会：令和5年10月〔参加人数：1名〕
- ・島根県高齢者虐待防止研修会：令和5年12月「オンライン参加」

2) 内部研修

実施日	研修会・勉強会内容	参加者
7/9	デイ会議（ケース検討会）	3名
8/20	デイ会議（ケース検討会）	3名
9/17	デイ会議（ケース検討会）	3名
10/15	デイ会議（ケース検討会）	3名
11/12	デイ会議（ケース検討会）	3名
12/3	デイ会議（ケース検討会）	3名

3) 集団指導

- ・令和5年度松江市介護サービス事業者集団指導：令和5年7月〔オンライン参加〕

5. ボランティア、福祉体験等受け入れ状況

- ・歌唱ボランティア（おっくん）：12月日曜デイ

6. 業務継続計画（BCP）の策定に関わって

介護サービスは要介護者や要支援者、そしてその家族の生活を支えるうえで欠かせないものです。そのことから新型コロナウイルス感染症等の感染拡大にともなう緊急事態制限下や自然災害発生時においても継続的なサービス提供が求められています。それらを踏まえ、介護サービスの業務継続のため、平時から準備や検討していく体制が求められています。

1) 策定内容

①感染症に係る業務継続計画

- 平時からの備え：体制の整備、感染防止に向けた取組、消毒液や防護用品の確保など
- 初動対応：感染確認からの対応手順など
- 感染拡大防止体制の確立：保健所との連携、濃厚接触者への対応、関係所との情報共有など

②災害に係る業務継続計画

- 平常時の対応：建物や設備の安全対策、必要品の備蓄など
- 緊急時の対応：対応体制など
- 家族、地域及び関連機関との連携：避難や救助支援の連携体制など

③研修について

- ・年1回実施：毎年4月（法人全体）

④訓練について

- ・年1回実施：毎年4月（法人全体）

2)『健笑庵いくま』における、策定上での課題及び問題点

- ①家族や地域、関係機関との十分な連絡及び連携体制が必要である。
- ②行政等による介護サービスのセンター的機能が必要である。

7.（参考：再掲）地域密着型通所介護事業所『健笑庵』の「在宅支援」の継続的な取り組みについて

- *新型コロナウイルス感染症の取り扱いが変更になり、少しずつ以前の様な地域での交流が戻りつつあります。このタイミングにおいて、あらためて高齢者の皆様の地域での暮らしにおいてデイサービスの有効性について再認識いただければと前回に引き続き再掲させていただきました。

平成12年（2000年）4月、介護保険の施行に伴い、「施設」から「在宅」へと機運も高まり、医療の延長線上のケアだけではなく、地域で暮らすためのケアとして、翌、平成13年（2001年）に少人数制の通所介護事業所『健笑庵』を開設いたしました。それ以来、多くの皆様とご縁をいただき今日に至っております。その間、皆様から多くの学びと気付きを頂戴いたしました。この経験が、現在の『健笑庵』の基本理念である「在宅支援」の糧であり、根拠となっています。

1) 通所介護の役割と可能性

一般的に通所介護の基本方針は、「利用者が可能な限りそれぞれの居宅でその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるように機能の維持、向上を目指し、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより社会的孤立感の解消や心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図るもの」とされています。『健笑庵』では、このことを踏まえ、これ以前の段階として、本人の生活意欲へのアプローチと考えています。通所介護はサービスの特性から一定の週内リズムで7時間程度の時間を本人と直接、向き合うことができます。健全な暮らしのリズムを構築し、そこでの必要な交流や支援が可能になることで参加への自主性にアプローチできていると考えています。また、「送迎」という特性を生かし、ご家族様との連携や必要に応じてはご自宅近隣の皆様との連携の機会もつながらと考えています。

2) 通所介護の利用のタイミング

『健笑庵』では通所介護サービスの利用を検討するタイミングは次のように考えています。

- ①他者と交流したい。
- ②配偶者死亡等による、世帯構成の変化
- ③同居家族の介護負担の軽減策として
- ④食事摂取の状況の変化など体調変化のタイミング

3)「個別支援」のための状況把握の取り組み。

「個別支援」の基本的な視点として、高齢者介護の問題は、本人や家族の努力で未然に防げるものではないということ、本人や家族の責任追及という視点ではないということです。本人を取り巻く社会的環境を十分に把握し、そこには様々な要因が重なってその問題を複雑にしています。本人や家族、当事者だからこそ分かりにくい状況もあります。そこで私たちの役割は、その個人の現状を丁寧に理解していくことにあります。

8. 報告に対する質問意見及び要望

〈意見、要望〉

○活動報告に関わって

- ・週2回利用しています。息子と二人暮らしで日中1人なので、デイサービスに来ています。昼食が美味しく、いろいろな方と交流ができるので楽しみにしています。[利用者]
- ・離れて暮らしているのでデイに行ってくれると安心です。連絡帳に利用時の様子を詳しく記入していただき、ありがとうございます。[利用者家族]
- ・自宅では入浴出来ないの、デイサービスで入浴させてもらっています。浴槽の出入りや洗身など身体状況もみてもらえて安心しています。[利用者家族]
- ・レク活動については四季の行事を取り入れ色々と工夫されて活動されていると感じます。[地域代表]
- ・レクリエーションや歌や脳トレなど皆さんと賑やかに過ごしている。外出する事が楽しみなのでまた連れて行って欲しい。[利用者]
- ・日曜デイには参加していないが外出が好きなので機会があれば参加してみたい。[利用者]
- ・本人は体調不良の日が多く、家族ではなかなか外出させてあげられないので、日曜デイに機会があれば参加させてみたい。昔から外出する事は好きなので、気分転換になると思います。[利用者家族]

- 当事業所も業務継続計画の策定を行っている。その中で、平常時より必要品の備蓄を増やすことなどに取り組んでいる。災害時には地域の方との連携が重要になると思う。避難については、施設内での別の棟に移動できるスタイルを考えている。ただ、小規模多機能型施設は、入居部分と通所部分があり、どのように業務継続計画の策定をしてよいのか悩んでいる。[知見有識者]
- 西生馬町内の特徴として、二人暮らし高齢者世帯が多く独居世帯も10世帯ある。60歳以上が54名になった。若い世代が減少している。災害時に地域連携が必要と言われているが、若い世代がいないので、災害時が不安である。[地域代表者]

〈質疑応答〉

- Q：日々のレクリエーション内容や曜日別対抗ゲームとはどのように決めて実地されているのか。[地域代表]
A：毎月、職員会議で次月のレクリエーション、曜日別ゲームの内容を相談し、担当制で実地しています。曜日別ゲーム週間は、利用された方にゲームに参加してもらい、その合計得点を、その曜日の得点とし月曜日から金曜日まで争います。一番得点が高い曜日が優勝となり、次週利用される曜日の昼食内容を普段の食事より少し豪華にして祝勝会を行います。
- Q：避難訓練を定期的にされているようだが、どのような内容ですか。[包括支援センター]
A：自宅で生活する上での火災や地震を想定して、避難の方法など、防災に関わる情報提供の機会として取り組んでいます。デイサービス利用時の防災訓練としては避難時の注意事項、避難経路の確認、勤務職員の避難誘導時の役割確認を行っています。また、近年多発している特殊詐欺等に対しての話題や注意喚起を行う機会としています。
- Q：定期的に親の様子を見に行っていますが夜間や仕事の時に特変があった時に心配していますが夜間時の対応はされていますか。[利用者家族]
A：夜間の緊急対応は行っていません。ただ、事前の予定として、21 時までのお預かりサービス等、弊社、有償介護サービス『生活サポートサービス』で対応させていただいています。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○